

# 理工学部教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

全校	学部	学科	学位	教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)
理工学部	理工学部		学士 (理工学)	<p>理工学部では、理学と工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、イノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人格と教養を身につけ自発的に学習する態度を養う教育を行う。</li> <li>2. 事象や課題を論理的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、理工学の基礎知識を十分に理解させる教育を行う。</li> <li>3. 自ら問題を解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、専門知識による問題解決力と表現力を養う教育を行う。</li> <li>4. 確かな知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成するため、諸問題に柔軟に対応できる自律的応用力と創造力を養う教育を行う。</li> </ol>
			社会基盤デザインコース	<p>社会基盤デザインコースでは、数学・物理・地球科学の理学と建設・建築・都市・環境・防災に関する幅広い理論と技術に関する知識を有し、問題解決能力、計画・企画力および実行力を身につけ、社会に対する強い責任感や倫理観と高度な説明能力を具備する建設技術者を育成するために、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1, 2年次における初年次教育の柱として「教養教育科目」を受講し、大学での学びに主体的に取り組む態度を身につけさせた上で、幅広い教養教育を通じて豊かな人間性と高い倫理観を修得させる。また、さまざまな体験を通じて人間性・社会性を高めさせるとともに、情報処理や外国語運用の基礎力を養成し、持続可能な社会づくりの担い手たる資質としての進取の気風を身につけさせる。</li> <li>2. 「学科共通科目」や他コース科目の履修により、自発的な学習意欲をもって理工学の基礎知識を修得させ、事象や課題を科学的に解析できる分析力と探究力の向上をめざす。</li> <li>3. 建設工学の専門基礎科目(構造力学、土質力学、水理学、計画法、材料学、環境学、測量学)について、基本的理論と基本的な演習課題を解ける知識を修得させる。</li> <li>4. 建設工学の専門応用科目(構造工学、地盤工学、鉄筋コンクリート工学、建築学、水工学、環境工学、生態学、都市地域計画学)について、基礎理論及び応用課題の演習を通じて実務に活用可能な知識を修得させる。</li> <li>5. 建造物設計・維持管理の分野もしくは環境・都市・地域の保全管理の分野について、実験や実習を通じて実務問題の理解と課題演習が解ける知識と応用力を修得させるとともに、建設業務の計画と実施・マネジメントに関わる実務についての知識を修得させる。</li> <li>6. 社会基盤を構築する各種施設・構造物の設計・施工・維持や、人間社会が環境に及ぼす影響の評価とその緩和に関する基礎的及び実践的なテーマ設定のもとに、課題演習・調査・実験を遂行し、対象とする現象への理解を深めさせるとともに、問題解決能力ならびに創造性を高めさせる。さらに、卒業論文の作成と発表会を通じて、論理的表現能力と情報発信能力を高めさせる。</li> </ol>
			機械科学コース	<p>機械科学コースでは、理学と工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、機械分野を中心としたイノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人格と教養を身につけ自発的に学習する態度を養う教育を行う。</li> <li>2. 事象や課題を論理的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、理工学の基礎知識を十分に理解させる教育を行う。</li> <li>3. 自ら問題を解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、力学を中心とした専門知識による問題解決力と表現力を養う教育を行う。</li> <li>4. 確かな知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成するため、諸問題に柔軟に対応できる自律的応用力と創造力を養う教育を行う。</li> </ol>
			応用化学システムコース	<p>応用化学システムコースでは、理学と工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、イノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人格と教養を身につけ自発的に学習する態度を養う教育を行う。</li> <li>2. 事象や課題を論理的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、理工学の基礎知識を十分に理解させる教育を行う。</li> <li>3. 化学者あるいは化学技術者として自ら問題を解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、専門知識による問題解決力と表現力を養う教育を行う。</li> <li>4. 確かな知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる化学者あるいは化学技術者を育成するため、諸問題に柔軟に対応できる自律的応用力と創造力を養う教育を行う。</li> </ol>
			電気電子システムコース	<p>電気電子システムコースでは、豊かな教養を持ち、高い倫理観と強い責任感を有するとともに、理学と工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、イノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人間性と幅広い教養を身につけ主体的に学習する態度を養う教育を行う。</li> <li>2. 課題や事象を論理的・科学的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、電気電子工学に関する基礎知識を十分に理解させる教育を行う。</li> <li>3. 自ら課題を解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、電気電子工学に関する幅広い視野とその応用力、問題解決力及び表現力を養う教育を行う。</li> <li>4. 電気電子工学に関連した知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成するため、諸問題に柔軟に対応できる自律的応用力、創造的的思考力、デザイン能力及びプロジェクト型研究遂行能力を養う教育を行う。</li> </ol>

全学	学部	学科	学位	教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)
		情報光システムコース		<p>情報光システムコースでは、情報工学、知能工学及び光工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、イノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人格と高い倫理観を身につけ自発的に学習する態度を養う教育を行う。</li> <li>2. 事象や課題を論理的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、理学的素養の上に情報工学・知能工学・光工学の基礎知識を十分に理解させる教育を行う。</li> <li>3. 自ら問題を解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、情報工学・知能工学・光工学の専門知識による問題解決力と表現力を養う教育を行う。</li> <li>4. 確かな知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成するため、情報工学・知能工学・光工学の諸問題に、科学技術を広く俯瞰して柔軟に対応できる自律的応用力と創造力、さらにチーム内での自分の役割を理解し協動的に課題を解決できる能力を養う教育を行う。</li> </ol>
		応用理数コース		<p>応用理数コースでは、理学と工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、イノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人格と教養を身につけ自発的に学習する態度を養う教育を行う。</li> <li>2. 事象や課題を論理的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、理工学の基礎知識を十分に理解させる教育を行う。</li> <li>3. 数学、情報科学、物理科学、化学、地球科学、生物科学の諸問題を自ら解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、専門知識による問題解決力と表現力を養う教育を行う。</li> <li>4. 確かな知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成するため、諸問題に柔軟に対応できる自律的応用力と創造力を養う教育を行う。</li> </ol>